



## 支援金情報大まとめ！ - 博士後期課程で受給できる支援金 - \*1

	① 新大博士奨学金	② 学振DC1	③ 学振DC2	④ JST次世代 (SPRING) *5			
正式名称	新潟大学大学院博士課程奨学金制度*2	日本学術振興会特別研究員 DC1*4	日本学術振興会特別研究員 DC2*4	次世代研究者挑戦的研究プログラム*6 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト			
機関	新潟大学	日本学術振興会		科学技術振興機構			
生活費 (年額)	30万円 (一時金)	240万円		210万円 (条件によっては研究費のみ)			
研究費 (年額)	-	150万円以内		初年次 20万円			
				2年次以降			
				専門深化型	キャリア型	創生型 (クロスAI)	学際研究型
		20万円	20万円	30万円	40万円		
期間	一時金	3年	2年	博士後期課程 最大 3年 医歯学系 (4年制) 最大 4年			
対象者	各研究科、進学者選考に出願し、翌年度の4月又は当該年度の10月に博士課程に進学することを確約できる者*3 <small>(自然研では第三次募集出願者は申請不可)</small>	博士後期課程1年目など	博士後期課程2年目以上など	新規採用は、博士後期課程 1年次 医歯学系 (4年制) 1年次			
対象分野	全分野	全分野		全分野			
新潟大学採用予定数/年	30人以内 (自然研実績 令和6年度 14人、令和7年度 4月入学16人、10月入学 3人)	若干名 (令和7年度 1人) - 全国 708人 -	若干名 (令和7年度 3人) - 全国 1092人 -	初年次 29人 (令和6~8年度)			
				3人	6人	6人	14人
継続性	毎年	毎年		毎年 (予定)			
申請締め切り時期	4月入学12月頃 10月入学6月頃	5月末		7~8月頃			
所得の扱い	雑所得	給与所得		雑所得			
副収入の制限	学振DC1/2, 国費留学生 外国政府派遣留学生, JST次世代支援対象者 支援不可	常勤職・常勤職に準ずる職 (月80時間目安) 支援不可		年度や募集要項によって異なるため、HP*6をご確認ください			
備考	内部進学者のみ 収入制限あり	・奨励金の3割を研究遂行費として非課税にする制度あり ・学振特別研究員は給与と所得があり、職歴にも記載できる		◆共通メニュー (初年次 D1) ・博士のためのキャリアマネジメントセミナー・メンター (ユニット選択) 面談への参加・researchmap登録 ・ジョブ型研究インターン専用システムへの登録 (PhDリクルート室提供コンテンツ参照*7) ・「博士学生支援プログラムシンポジウム」参加、発表			
				・規定以上の論文数を投稿 ・学振DC1/2制度への申請 (毎年) ・アカデミックライティングセミナーの参加	・PhDリクルートフォーラムへの参加 ・ジェネリックスセミナー (全3回) 参加	・YDSCの企画・運営 ・BDA研究センターのセミナー・講習への参加	・学内短期留学制度 (マルチラボ) ・マルチラボ 成果発表

\*1 その他、新潟大学生が受けられる支援金制度の情報はこちら (<https://www.niigata-u.ac.jp/campus/economic/scholarship/>)

\*2 新潟大学 新潟大学博士課程奨学金制度 (<https://www.niigata-u.ac.jp/campus/economic/scholarship/graduatestudent/>)

\*3 4月入学者は2月末までに、10月入学者は8月末日までにすべての試験日程を終了する選考に出願し、進学した者

\*4 日本学術振興会 特別研究員 申請手続き ([https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd\\_sin.html](https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sin.html))

\*5 令和9年度以降の継続は未定

\*6 令和8年度博士後期課程学生支援事業「次世代プロジェクト」募集要項 (<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/next-generation-project/application-details/>)

\*7 PhDリクルート室HPはこちら (<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/>)

